

下館ロータリークラブ会報

SHIMODATE ROTARY CLUB WEEKLY REPORT 2023-24

第 02636 号 発行日 令和 5 年 7 月 12 日



世界に希望を生み出そう

本日のプログラム

ク ラ ブ 協 議 会



次週のプログラム

軽部ガバナー補佐
ガバナー公式訪問事前説明

会長／宮 田 憲 一 副会長／神 山 芳 子 幹事／堀 江 勤 会長エレクト／宮 田 憲 一

例会 毎週水曜日 12:30 ダイヤモンドホール (〒308-0847 茨城県筑西市玉戸1053-4 ☎0296-28-8511)

ホームページ <http://www.shimodate-rc.gr.jp> Eメール shimodate@ri2820.jp



前例会報告 第3022回 2023/7/5日(水)

会 長 挨 拶

宮 田 憲 一 会 長



歴史と伝統ある下館ロータリークラブの第64代会長となります宮田です。まずもって、潮田さんには2年連続の、そして本日はお休みですが3度目の幹事を務められた神山さん、本当にお疲れさまでした。心より感謝を申し上げます。

私は、小学校・中学校の同級生である潮田直前会長の紹介で2018年1月24日に入会し、現在5年6ヶ月となります。まだまだ経験の浅い若輩者の会長ではございますが、しっかりと舵取りをしていく所存ですのでどうぞよろしくお願いいたします。

また本日は新入会員の冨田さんにお越し頂いております。後ほど、改めてご紹介させていただきたいと思います。

さて、本年度スコットランド出身のゴードン RマッキナリーRI 会長は、

『CREATE HOPE in the WORLD』

～世界に希望を生み出そう～

をテーマとして掲げました。

- ①平和の推進
 - ②メンタルヘルスの推進
 - ③ポリオのない世界の実現
 - ④これまでの過去のリーダーたちの取組への継続(女子のエンパワーメントや DEI【多様性・公平さ・インクルージョン】の推進)
- の4つの目標を掲げています。
- そして大久保博之ガバナーの地区のスローガ

ンは、

『まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る』です。街・地域の魅力度を再発見、発信し高めるための活動を重点目標に種々展開されます。これらを受け、私の会長年度のクラブテーマは『原点回帰～Let's smile !』としました。詳しくは、本日のプログラムの会長方針の中でお話しさせていただきますが、会員のみなさんはもちろんのこと、そのご家族、ロータリーファミリー、地域のみなさん、あるいはネパールの子どもたちをはじめ世界の人々のたくさんの笑顔が見られる！楽しそうに笑っている姿をたくさん見ることができる！そういった瞬間をたくさん経験できる1年にしたいと考えました。

筑西市の友好都市、岡山県高梁市。合併前の旧下館市が、江戸時代初期に下館藩主であった水谷(みずのや)家が備中松山(現・高梁市)に移ったという歴史的経緯にちなんで友好都市関係を締結しています。そのご縁により2690地区高梁RCと下館RCは友好クラブとなっております。その備中松山藩の幕末期の陽明学者、山田方谷が長岡藩士の河井継之助に贈った言葉で、『至誠惻怛』(しせいそくだつ)という言葉があります。これは私の座右の銘でもあります。まごころ(至誠)と、いたみ悲しむ心(惻怛)の二つを兼ね備えて生きることが、人としての基本姿勢であると説いています。

ロータリーの根底に流れる相互扶助の精神・思いやりの精神は不朽であり、いつの時代も求められていたことが歴史の中からも証明できる言葉だと思います。そこに現在のロータリー活動の原点があるように思っています。

さて今月のロータリーの友7月号の50ページに、当地区のウクライナ支援の女子のエンパワメントが紹介されています。

当クラブの新井パストガバナーがこれまでずっと中心となって行ってきたウクライナの支援。これはまさに『至誠惻怛』の心を実践したも



のだと感じています。ぜひご覧いただきたいと思います。

新年度がいよいよスタートしますが、堀江幹事という心強い支えがあり無事本日を迎えることができました。皆様もこれからどうぞよろしくをお願いいたします。ぜひ楽しみましょう。

会長挨拶は以上となります。

新旧会長バッチ引継ぎ



幹事報告 堀江 勤 幹事

○配布物

- ・「月信」用ファイル
- ・23-24 役員・委員会編成表
- ・23-24 年間計画書
- ・23-24 上半期会費納入の件
- ・7月、8月プログラム
- ・「ロータリーの友」電子書籍版について

○ガバナー公式訪問 8月2日

○ガイドブック「ミテラン」作成の協力依頼

○ポリオ根絶イベントの案内

○各種研究会参加依頼

○ガバナー事務所より

- ・日台ロータリー親善会議台北大会の案内 受理
- ・WC S「この指とまれ」の案内 受理
- ・地区分担金の振込依頼の件 受理
- ・期首クラブ会員数アンケートの件 受理
- ・インターアクト年次大会の案内 受理
- ・大野ガバナー事務所閉鎖の案内 受理
- ・ゴードンRマッキナリー会長メッセージの件 受理

○岩瀬RCより

- ・7月例会変更のお知らせ 受理

新入会員挨拶

富田 良一 会員



この度、下館RCに入会することとなりました富田良一です。住まいは桜川市の旧岩瀬町、岩瀬駅の南側の緑豊かなところに住んでいます。

生年月日は1973年12月25日で50歳になります。家族構成は、父、母、妻と4人の子供の計8人家族と、最近ではめずらしい大家族で賑やかに暮らしております。

趣味といいますか、最近妻と家庭菜園にはまっています。ゴルフは10年前にクラブを握るのをやめてしまいましたが、少しは出来ると思います。また、たまに日立あたりから船に乗って海釣りをしています。

下館RCでは背伸びせず、素直に正直に参加していきたいと思います。これから宜しくお願い致します。

会長方針

宮田 憲一 会長

2023-24年度 クラブスローガン

『 原点回帰～ Let's smile! 』

少しずつ、少しずつ。新しい光、新しい風、新しい波を感じながら時代の節目に在ることを実感しています。止まない雨はないのだと希望を取り戻そうと世界は動いています。

ゴードンR. マッキナリーR I 会長は“CREATE HOPE in the WORLD”『世界に希望を生み出そう』をテーマに掲げ、①平和の推進 ②メンタルヘルスの推進 ③ポリオのない世界の実現 ④これまでの女子のエンパワーメントDEI推進などの取り組みへの継続を重点事項としました。

そして、2820地区においては久保博之ガバナーが『まちを磨けば、あなたが輝き、世界



を彩る』をスローガンに地域経済発展のための茨城ガイドブック『見て覧・ミテラン』の作成を中心として、ウクライナ支援やポリオイベントの推進、ロータリー希望の風奨学金支援などに取り組むことを表明されました。

これらR Iおよび地区の目標を受け、今年度のクラブ目標を『原点回帰～ Let's smile!』といたしました。

この『原点回帰』とは決してノスタルジックな意味ではありません。この“原点”とは『今を楽しむこと』に他なりません。例会では様々なことを知り、学び、出会うこと。様々な職場を訪ね、様々な職業の価値を知ること。社会奉仕で地域の方々と触れ合いながら環境を守る活動も、国際奉仕で子ども達に学用品を届け触れ合うことも、市内の学生やローターアクトとの協働も。ポストコロナを見据え、顔を合わせ、手と手を取り合い、時に杯を交わし、ふれあいを大切に、そこにある『楽しさ』に、よりスポットライトを当ててブラッシュアップしていきたいと考えます。行動することで新しい『楽しさ』にもきっと出会うはずです。『楽しさ』こそメンタルヘルスの最高の栄養なのです。

ロータリー活動の“原点回帰＝基本・初心に戻る”というのはクラブの原点を常に創造～“CREATE”していくことが重要なのだと考え、変化を恐れず、柔軟性を持ち、しなやかにチャレンジする一年にしたいと思います。

会員の皆様はもちろんのこと、そのご家族、ロータリーファミリー、地域の皆様方のたくさんの『笑顔』が見られるように会長としての責務を果たしていく所存ですので、ご指導、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

スマイルBOX 鈴木健一 副委員長

お祝い事

パートナー誕生 中里泰久さん

▶宮田 憲一さん いよいよスタートです。皆様、宜しくお願い致します。

▶堀江 勤さん 宮田会長のもと幹事を努めさせていただきます。ご指導及びご協力をお願い致します。

▶新井 和雄さん 宮田会長、堀江幹事の輝かしい年度を祈念して。本日のロータリーの友7月号50ページに2820地区のウクライナ支援の記事が載っていますのでご覧ください。

▶潮田 武彦さん 宮田会長、堀江幹事の輝かしい門出を祝して。一年間宜しく願いします。

▶早瀬 浩一さん 宮田会長年度の門出です。皆様、一年間頑張ってください。

▶高橋 秀夫さん 宮田年度の門出を祝して。

▶中里 泰久さん 宮田年度のスタートを祝して。

▶新井 利平さん 宮田会長、堀江幹事の門出を記念して。一年間宜しく願いします。

▶小林 一彦さん 宮田会長、堀江幹事の輝かしいスタートを祝して。一年間宜しく願いします。

▶鈴木 健一さん 宮田さん、堀江さんの門出を祝して。一年間宜しく願いします。

本日の合計 23,000 円

出席報告

会員数	出席数	欠席数	病欠	免除
20	9	6	1	4



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理規準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理想を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。